

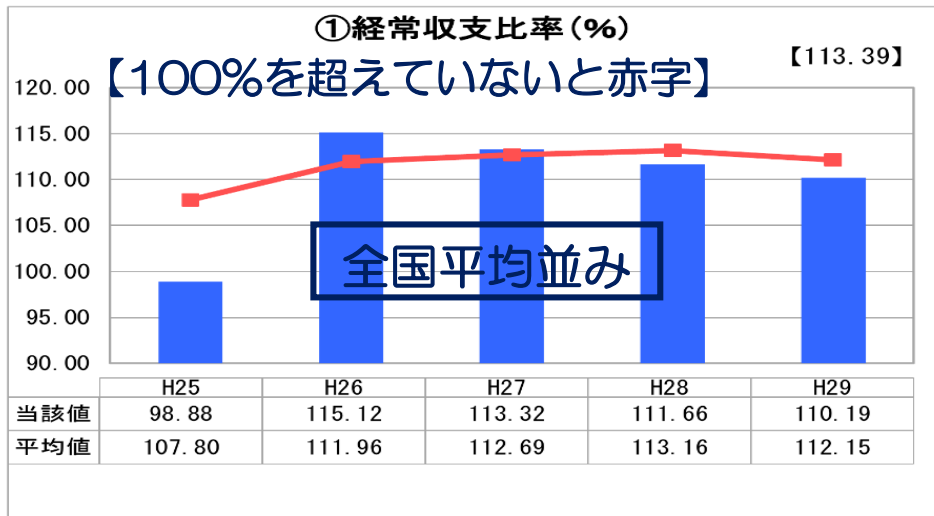
平成30年度水道事業運営審議会

平成31年度 水道事業 会計予算について【報告】

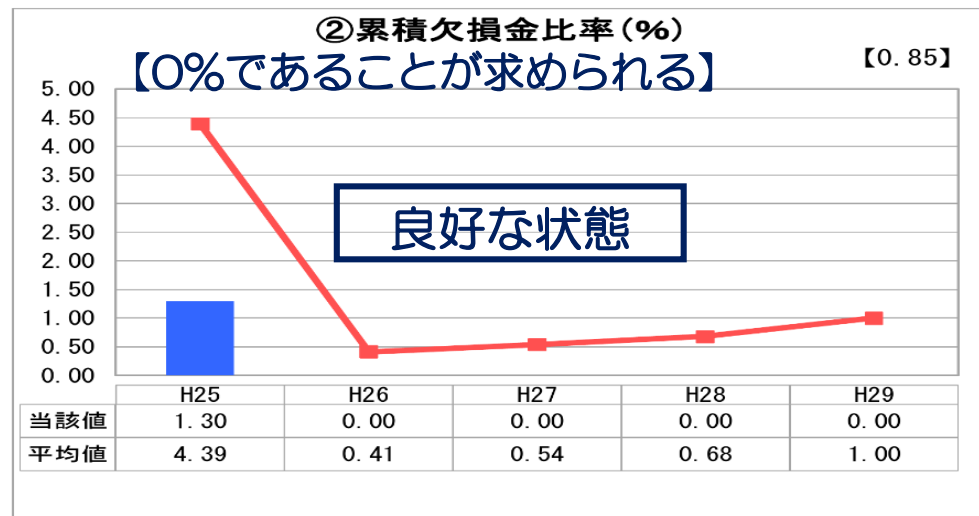
平成31年3月26日（火）
行田市 都市整備部 水道課

経営の健全性

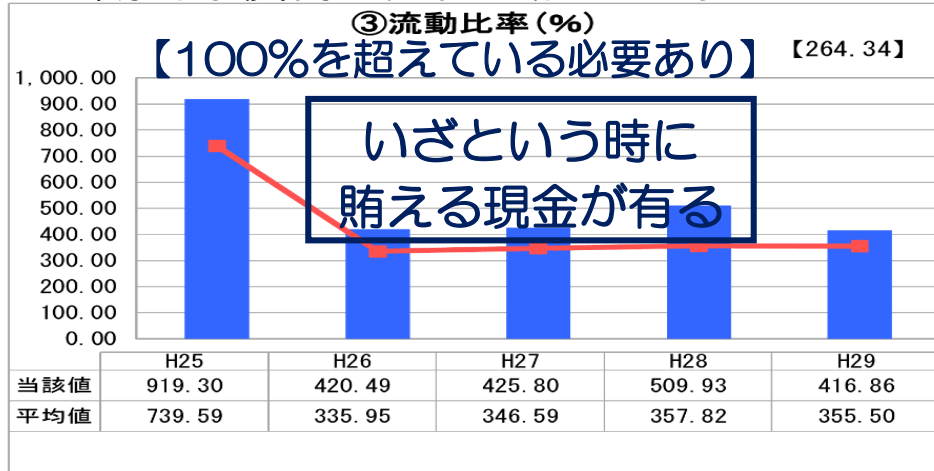
■水を配る費用が、収益で賄えているか？



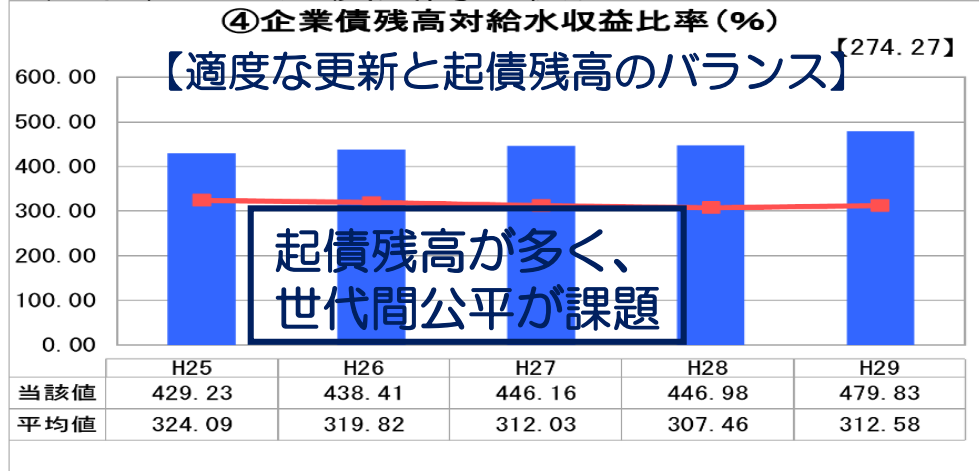
■複数年にわたり累積した損失はあるか？



■短期的な債務の支払い能力があるか？



■給水収益と起債残高の状況は？

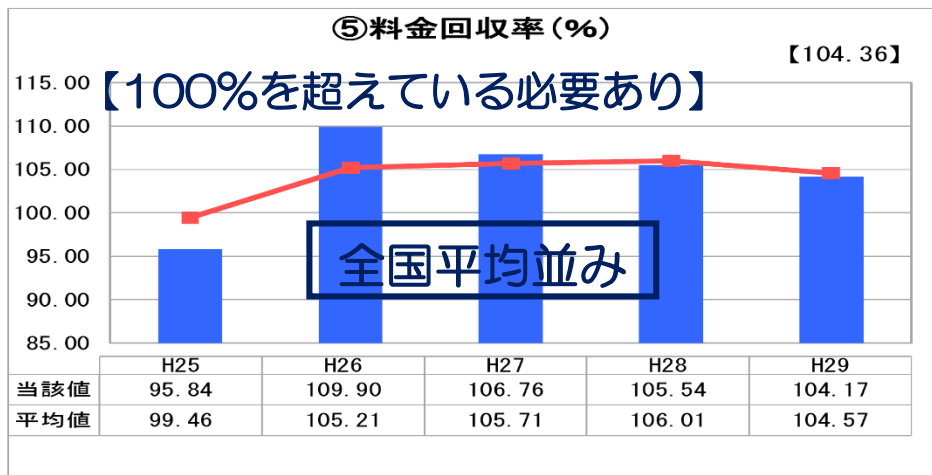


「支払能力」

「債務残高」

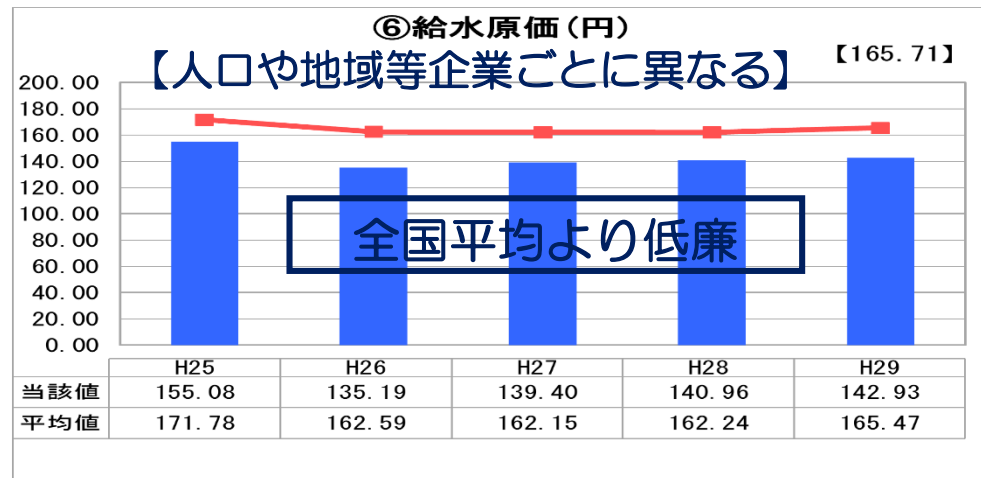
経営の効率性

■水を配る費用が、収益で賄えているか？



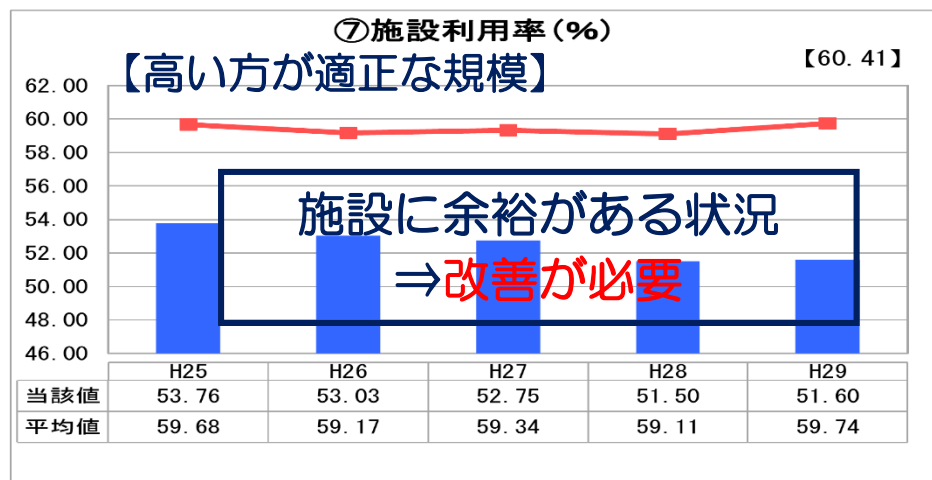
「料金水準の適切性」

■水1m³を作る費用はいくらか？



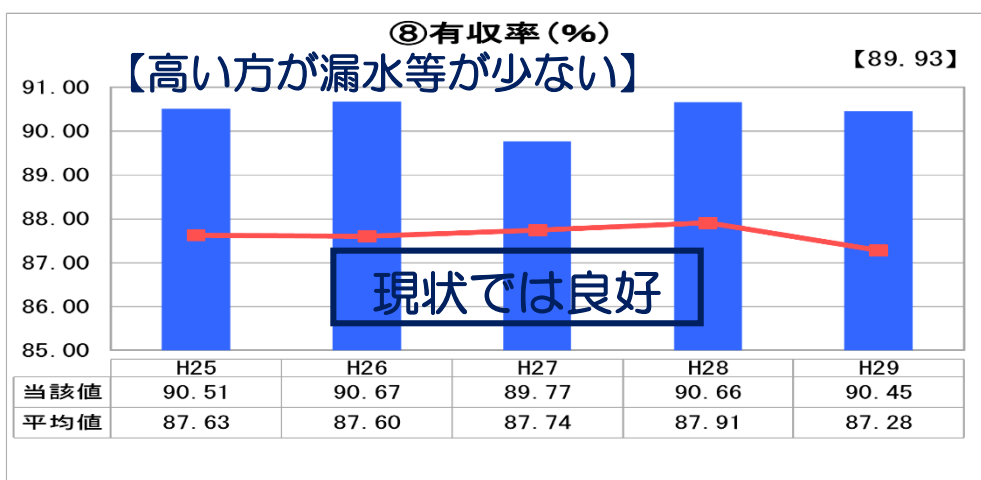
「費用の効率性」

■施設の利用状況は適正なのか？



「施設の効率性」

■施設の稼働が収益に繋がっているか？



「供給した配水量の効率性」

老朽化の状況

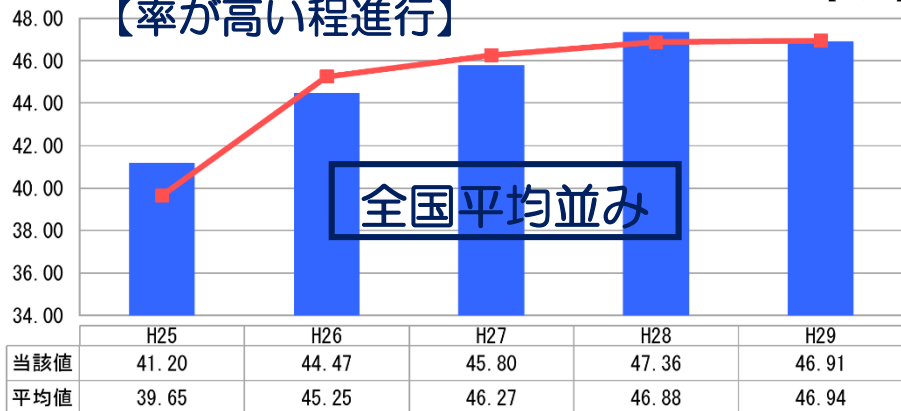
■減価償却がどれだけ進んでいるか？

①有形固定資産減価償却率(%)

【48.12】

【率が高い程進行】

全国平均並み



「施設全体の減価償却の状況」

■耐用年数を超えた管路がどれだけあるか？

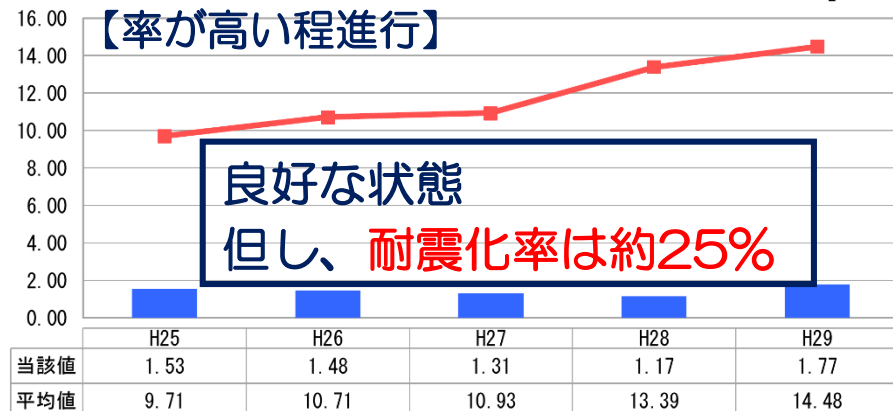
②管路経年化率(%)

【15.89】

【率が高い程進行】

良好な状態

但し、耐震化率は約25%



「管路の経年化の状況」

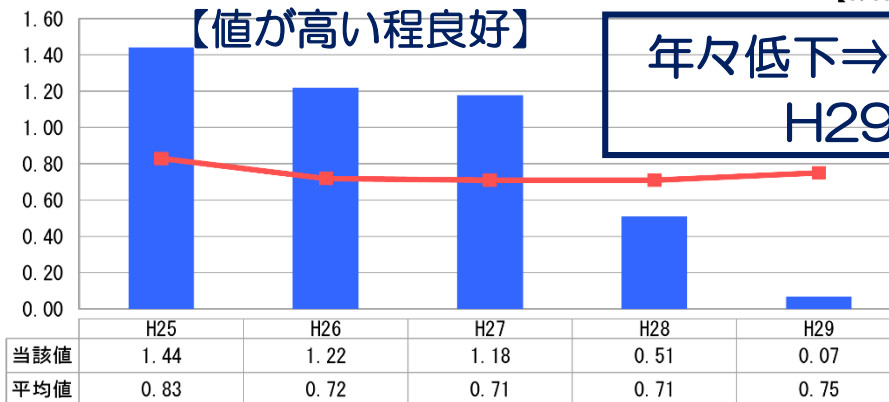
■管路をどれだけ更新しているか？

③管路更新率(%)

【0.69】

【値が高い程良好】

年々低下⇒石綿セメント管更新の完了
H29から簡水統合の影響が顕著



「管路の更新投資の実施状況」

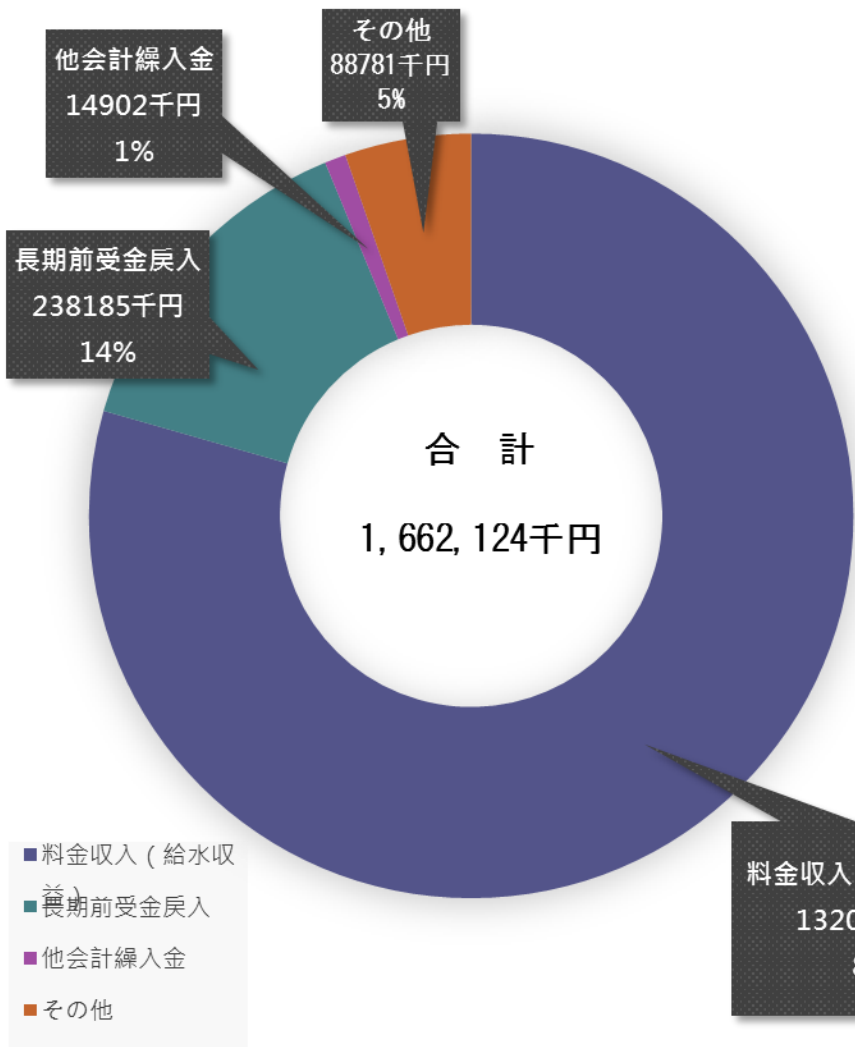
水道事業ビジョンによる経営基盤の強化対策

理想像	目標	理想像実現のための施策
安心できる水道 安全	(1) 安全な水道水の供給	① 水質管理の徹底
		② 貯水槽水道の適切な維持管理
		③ 配水池清掃や管路洗浄などの適切な実施
揺るがない水道 強靱	(1) 安定供給の確保	① 水道施設・管路の耐震化
		② 老朽化施設・管路の計画的更新
		③ 自己水源の適正管理
		④ 県水受水比率の見直し
(2) 危機管理体制の強化	① 関係機関との連携強化	
	② 応急給水・応急復旧体制の充実	
	③ 応急給水資機材の確保・充実	
	④ 水道施設台帳の整備	
	⑤ 市民との連携強化	
未来に続く水道 持続	(1) 経営基盤の強化	① 健全経営の確保
		② 組織体制の強化
		③ 業務の効率化（官民連携の推進）
		④ 事業規模の適正化
		⑤ 期限内納付の推進
		⑥ 水道料金の適正化
		⑦ 漏水防止対策の強化
		⑧ 広域化の推進
	(2) 環境保全の推進	① 電力使用量の削減

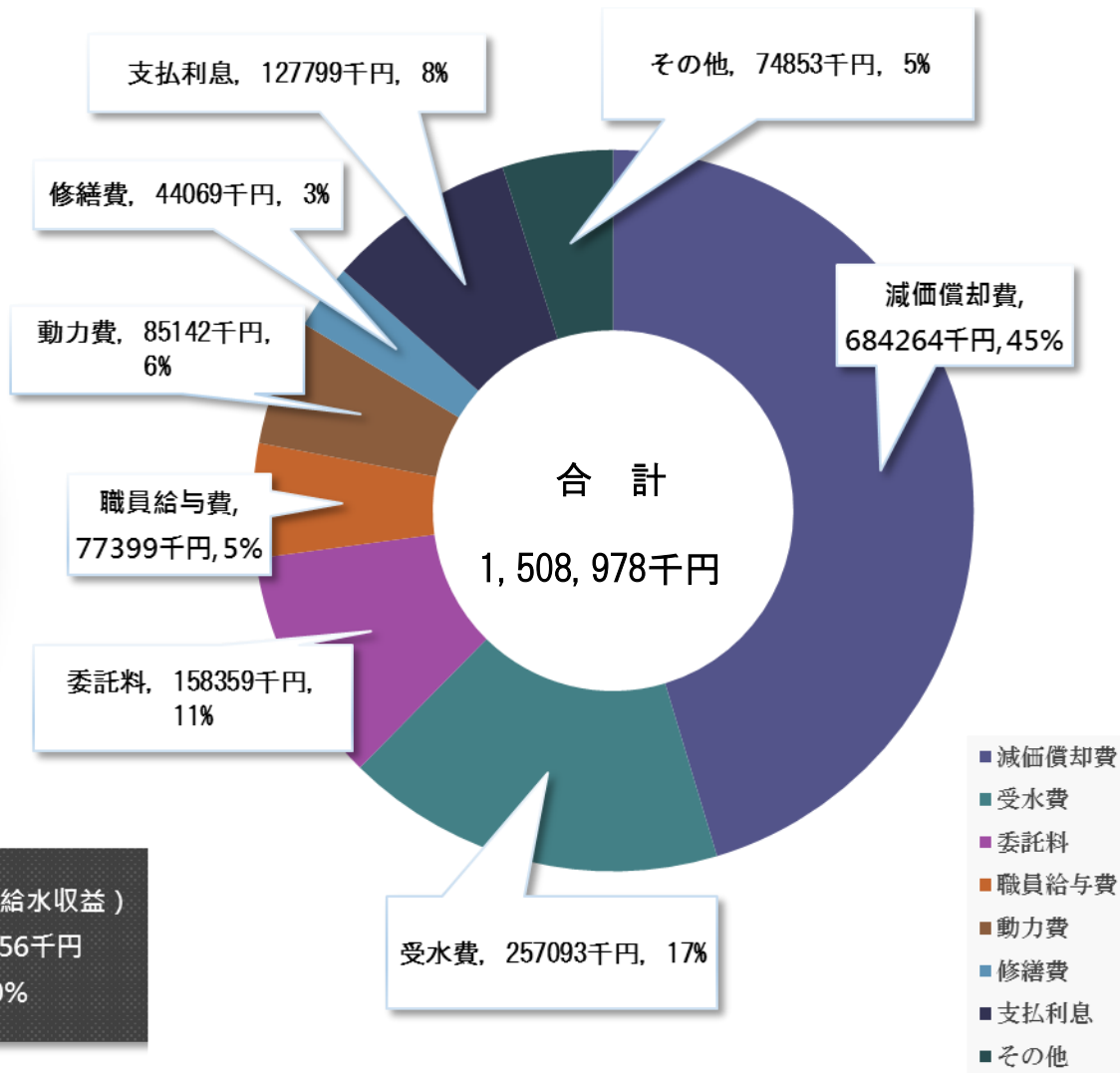
理想像	目標	業務指標 (目標値)	2016年度 (平成28年度) 実績値	2027年度 目標値
安心できる水道 安全	(1) 安全な水道水の供給	平均残留塩素濃度	0.30mg/L	0.10mg/L以上 0.40mg/L以下を維持
			【成果】おいしい水の基準値を達成し、いつでも安全でおいしい水を提供します。	
揺るがない水道 強靱	(1) 安定供給の確保	重要給水施設配水管路の耐震化率	0.0%	50.0%
		【成果】2つの重要給水施設配水管路のうち、1つの耐震化を達成し、災害に備えた管路を構築します。		
	管路の更新率	0.63%	1.05% (計画期間平均)	
(2) 危機管理体制の強化	災害対策訓練実施回数	1回/年	2回/年	
	【成果】実施回数を増やし、実効性のある応急体制を整備します。			
未来に続く水道 持続	(1) 経営基盤の強化	経常収支比率	111.7%	100%以上を維持
		【成果】各年度収益黒字を維持し、安定した経営を継続します。		
		企業債残高対給水収益比率	447.0%	450%以下
	【成果】比率を現状以下に低減し、将来世代への負担の公平に配慮します。			
(2) 環境保全の推進	施設利用率	51.6%	65.0%	
		【成果】県内平均水準を目指し、効率的な施設運用を実施します。		
(2) 環境保全の推進	配水量1m3当たり電力消費量	0.50kWh/m ³	0.40kWh/m ³	
		【成果】全国自己水を主とする事業者の平均水準まで低減し、環境への負荷を軽減します。		

平成29年度 決算内訳【3条 収益的収支】

収入



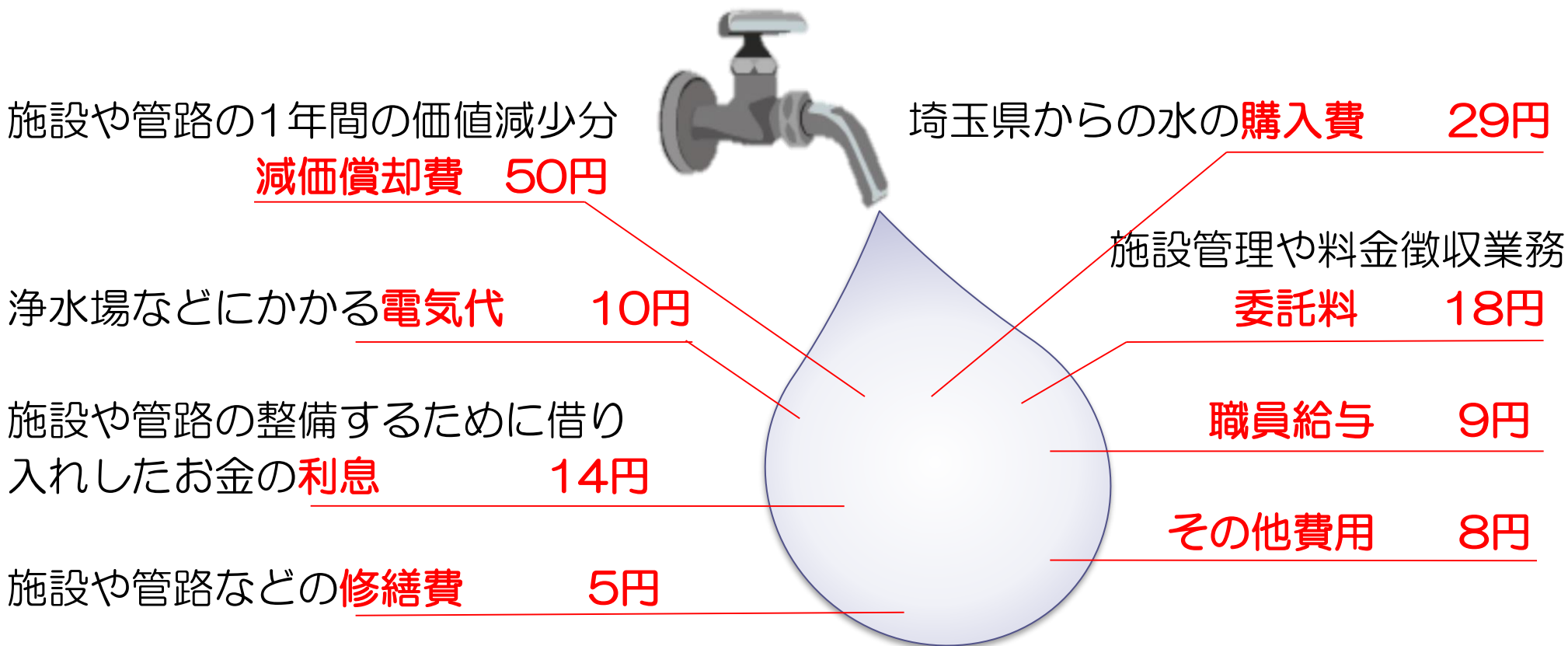
支出 税抜



平成29年度の水を1^m³作るための費用【給水原価】は？

水道水を1^m³を作るのに、**約143円**かかっています。

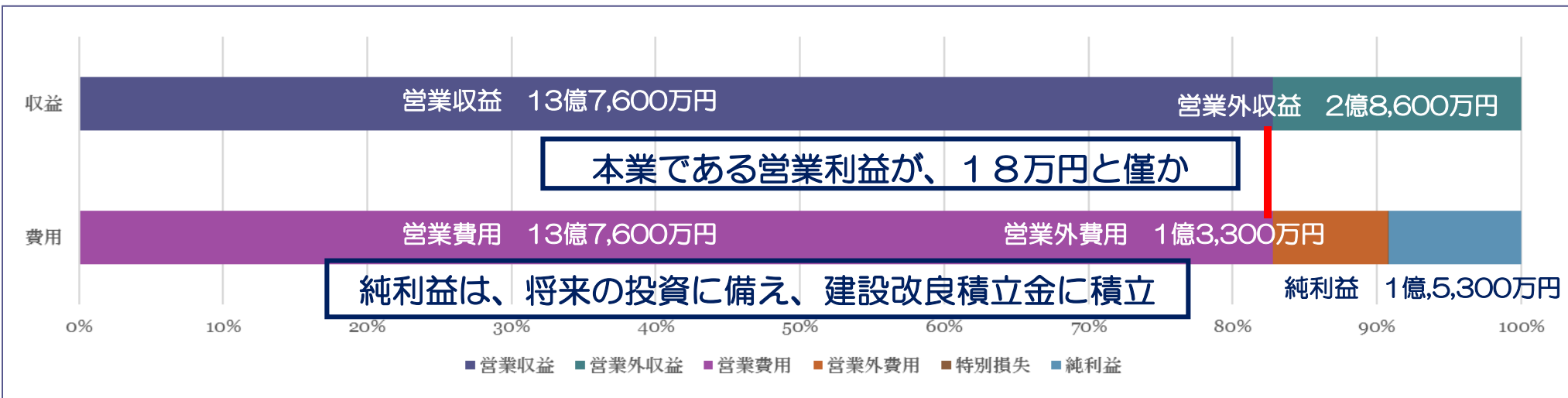
※1^m³は500mlペットボトル2,000本分【古代蓮の雫は、1本100円で販売】



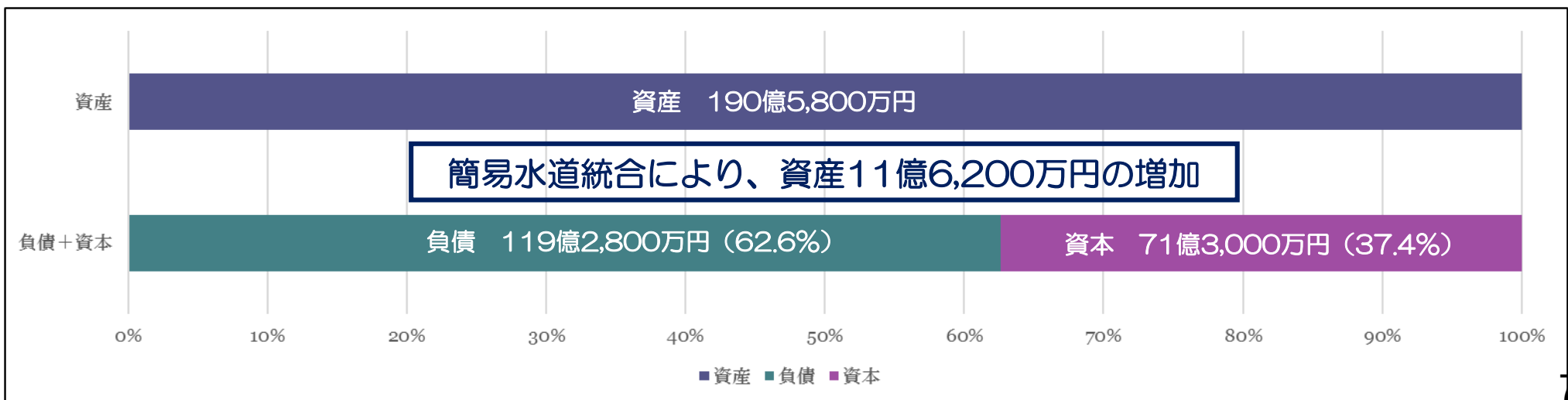
$$\begin{aligned} \text{料金回収率} &= \text{供給単価 (円/m}^3\text{)} \div \text{給水原価 (円/m}^3\text{)} \times 100 \\ &= 148.89 \div 142.93 \times 100 = 104\% \end{aligned}$$

平成29年度 水道事業決算状況

損益計算書【1年間の経営成績】

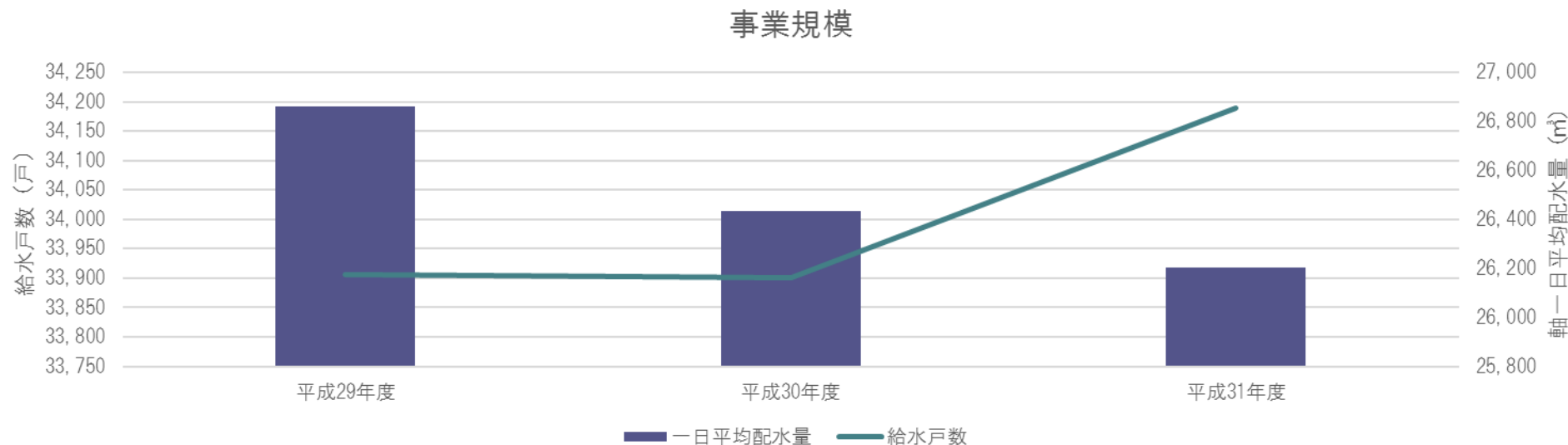


貸借対照表【水道事業の財務状況】



平成31年度 水道事業予算編成方針

■ H31事業規模の見込み

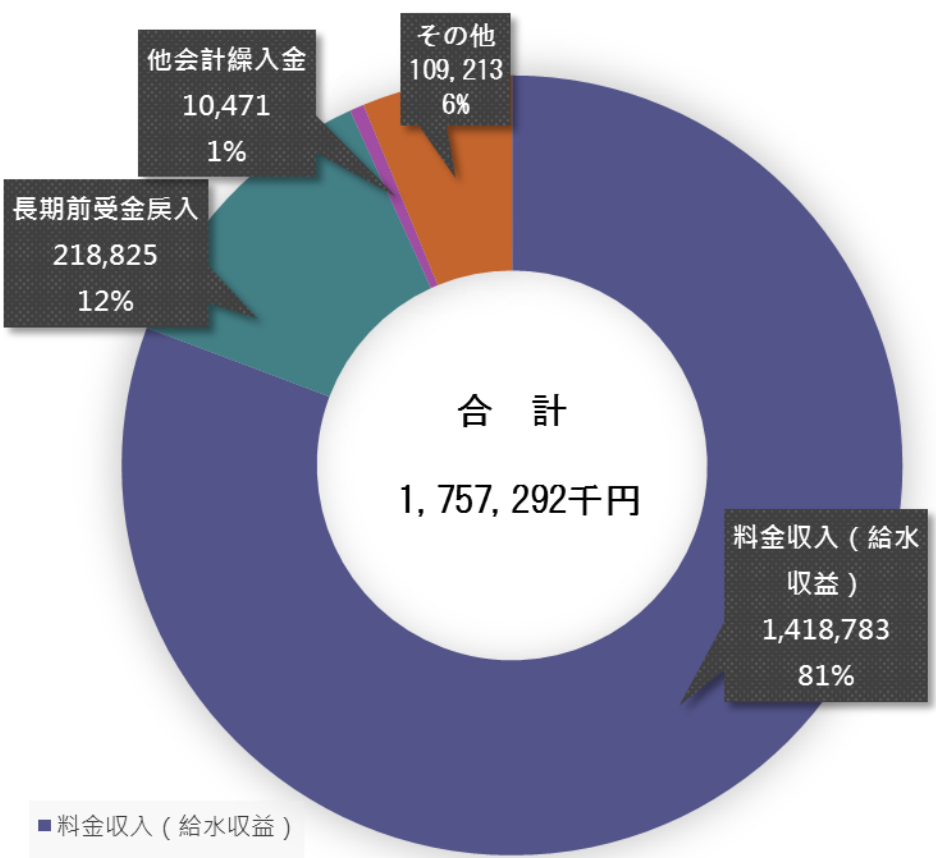


■ H31 予算編成方針

- 1 持続可能な経営基盤の強化 ⇒ 収益の確保と経営コストの削減
【取組例：料金改定検討と施設規模の適正化検討】
- 2 安定した水の供給 ⇒ 施設や管路の計画的更新と維持管理の充実
【取組例：耐震化対策工事や地区営水道解消工事の実施】
- 3 広報サービスの充実 ⇒ 利用者への積極的な情報発信と満足度の向上
【取組例：水道だより等の広報媒体の充実や防災訓練の実施】

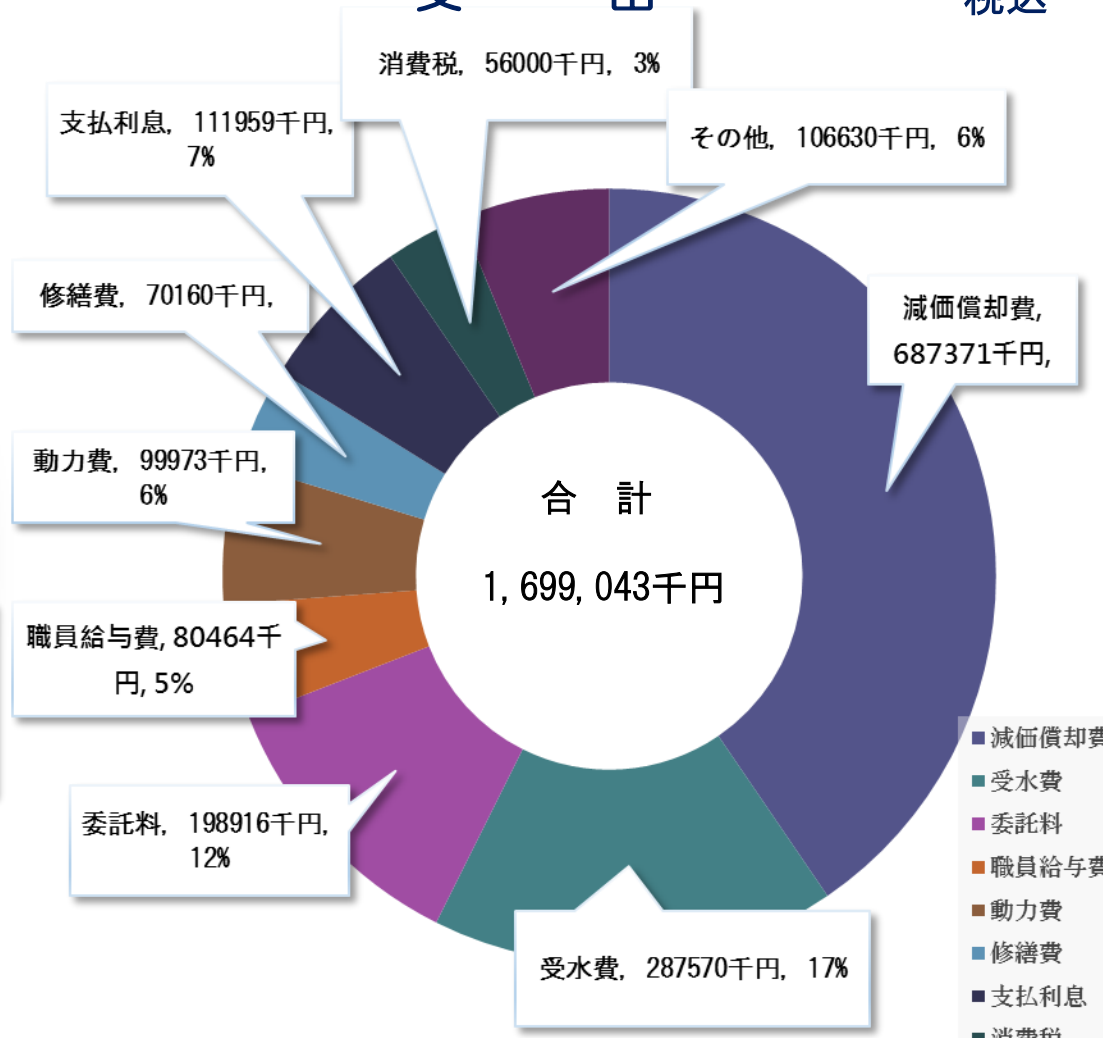
平成31年度予算【第3条 収益的収支 予算書P.3】

収入



対前年予算比 99.5%

支出

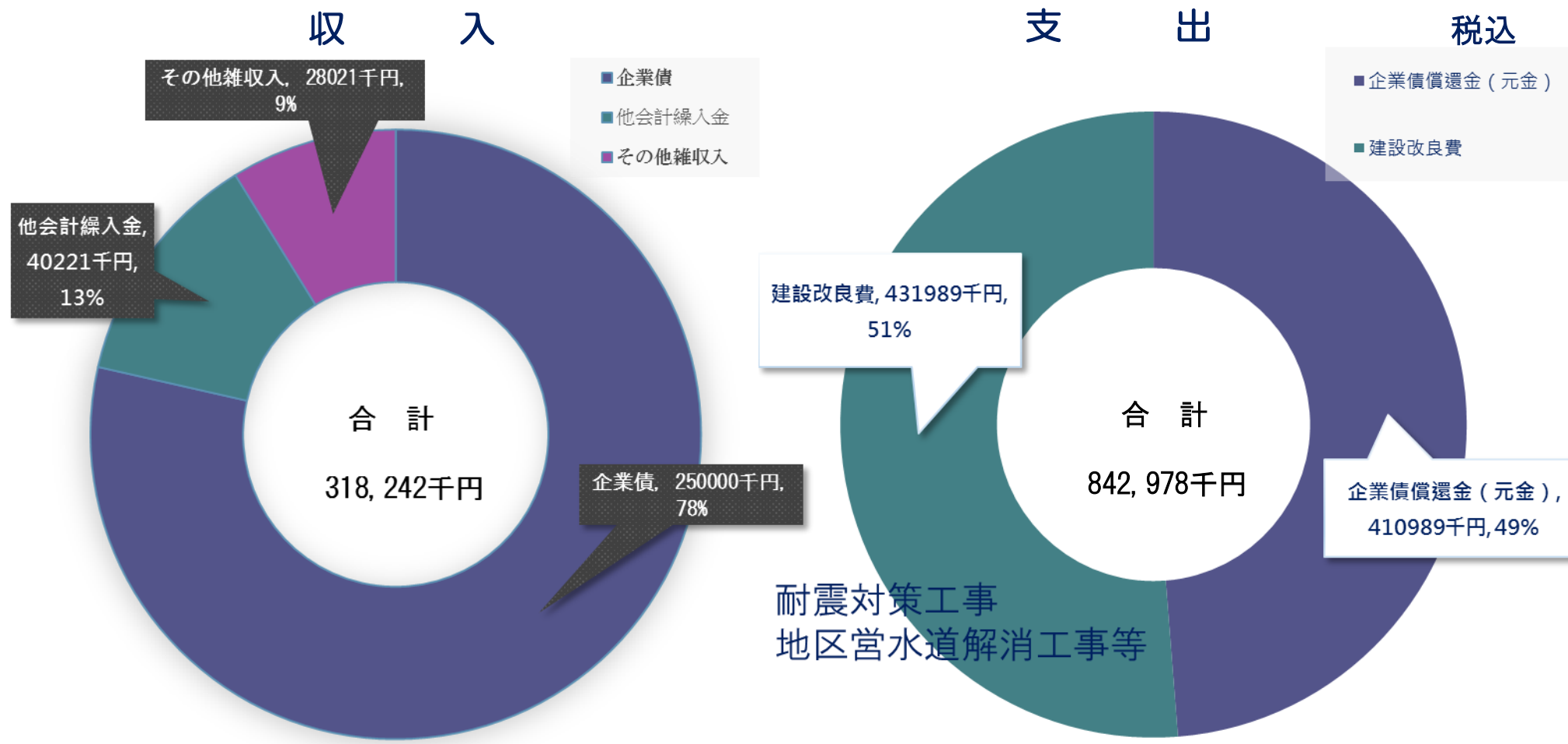


対前年予算比 101.5%

- 料金収入 (給水収益)
- 長期前受金戻入
- 他会計繰入金
- その他

- 減価償却費
- 受水費
- 委託料
- 職員給与費
- 動力費
- 修繕費
- 支払利息
- 消費税
- その他

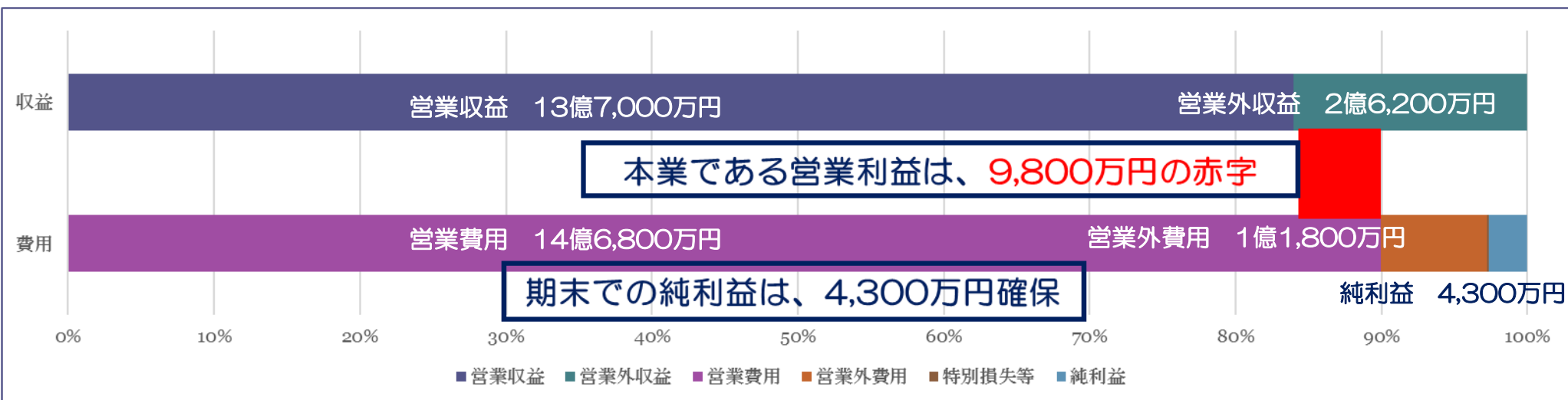
平成31年度予算【第4条 資本的収支 予算書P.4】



収益－支出＝▲524,736 賤円不足
 不足額は、消費税調整額と過・当年度分損益勘定留保資金で補てん
 ⇒当年度分の内部留保資金を補てん財源で使わざるを得ない状況

平成31年度予算における財務状況見込み

損益計算書【1年間の経営成績】



貸借対照表【水道事業の財務状況】

